

(その1/2)

令和元年度 第5回 徳島県立中央病院倫理審査委員会議事録

- 1 日時 令和元年10月29日(火) 18:05～19:00
2 場所 3階 会議室3
3 出席者 葉久貴司 上原克之 楊河宏章 谷 洋江
前川正彦 美馬敦美 尾崎修治 柴田啓志
鎌田和代 松浦 博 石川和恵 松川恵美
村尾和恵
4 審議結果 申請6件中6件承認
5 次回開催日時 令和元年11月26日(火)の予定 18:00～ 会議室3
次次回 // 令和元年12月19日(木)の予定 18:00～ 会議室3

受付番号	審議事項	申請者 (科・職名・氏名)	結果	備考
19-26	少量レナリドミド療法に再発・難治性となったMM患者に対するILd療法の効果と安全性(W-JHS MM02)	血液内科	承認	
		医療局次長		
		尾崎 修治		
19-27	自己免疫性肝炎と薬物性肝障害に対する臨床病理学的検討	消化器内科	承認	
		部長		
		柴田 啓志		
19-28	助産師が妊娠中から介入する産後うつ病予防の効果	5階北病棟	条件付承認	※
		助産師		
		石見 依里		
19-29	Stage II/IIIおよびCROSS1/2の閉塞性大腸癌に対するBridge to Surgery(BTS)大腸ステントの長期予後に関する多施設共同無作為化臨床試験	外科	条件付承認	※
		医員		
		藤木 和也		
19-30	研究支援に向けた研修の導入が研究者の「研究に対する困難感」に及ぼす影響	ICU	条件付承認	※
		看護師		
		磯崎 恵		
19-31	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法:多施設、前向き、無作為化比較試験(OPTIMA-AF)	循環器内科	承認	
		医療局次長		
		藤永 裕之		

(その 2/2)

- 19-28 ①説明文書の修正を一部を行うこと。
 ②介入当初は、情報公開文書ではなく同意書をとること。
- 19-29 ①研究計画書を確認した上で承認とする。
- 19-30 ①研修会に不参加の人も想定して様式作成を行うこと。
 ②研究に対する困難感のみならず、有用性も記載できるようすること。

19-26 :尾崎委員が関係者である為、定足数に含まない。(委員12名が承認)

19-27 :柴田委員が関係者である為、定足数に含まない。(委員12名が承認)

19-30 :村尾委員が関係者である為、定足数に含まない。(委員12名が承認)